

木造住宅バルコニー FRP防水施工標準仕様書

〈令和元年改訂版〉



FRP 防水材工業会

FBK FRP防水材工業会
FRP Waterproofing Membrane Industry Association

木造住宅バルコニー FRP防水施工標準仕様書

－ 改訂の趣旨と経緯について －

木造住宅バルコニー「FRP 防水施工標準仕様書」は、2005年（平成17年）に刊行されて以来、設計の方々や木造建築に携わる多くの方々に利用されてきました。

その後、2008年にFRP防水が日本建築学会標準仕様書・JASS8（防水工事）に新規仕様として採用されたこともあって、本仕様書は2009年（平成21年）に以下の通り改訂を行いました。

- ◆ 下地勾配を1/50以上から1/100以上に変更。
- ◆ 防水層の仕様について、JASS8記載のL-FF仕様との整合を図った。
- ◆ 防水用樹脂、ガラスマットの品質をJASS8品質規格によるものとした。

さらに、2010年に「FRP 防水工事施工指針・同解説」（日本建築学会）にFRP防水の木造住宅バルコニーへの適用が明記されたこともあり、本仕様書は2012年（平成24年）に以下の通り改訂を行いました。

- ◆ 防水層の仕様として「通気緩衝仕様」を新たに記載した。
- ◆ 防水層各部の納まりを明確化した。
- ◆ 環境対応型FRP防水材料の適用を示した。

今回、2013年（平成25年）発刊の公共建築木造工事標準仕様書にFRP防水が採用され、また日本建築学会標準仕様書・JASS8（防水工事）が2014年度に改訂されたこともあって、本仕様書の改訂を行いました、なお、今回の改訂の要点は下記の通りです。

- ◆ 防水用樹脂、ガラスマットの品質をJASS8品質規格2014年度版に変更した。
- ◆ 付属資料1 FRP防水材工業会会員各社の飛び火認定番号及び下地構造一覧表、付属資料4 FRP防水材工業会会員名簿を変更した。
- ◆ その他誤字、脱字等を修正した。

2019年10月

FRP 防水材工業会

目 次

1章 総 則	
1.1 適用範囲	1
1.2 用語	1
2章 防水下地の基本要件	
2.1 下地の構造	4
2.2 下地の状態	5
2.3 ドレン・オーバーフロー管	5
2.4 納まり図の一例	6
3章 防水層の仕様	
3.1 防水層の仕様	9
3.2 防水層の保護・仕上げ	10
3.3 環境対応型防水仕様	11
4章 防水材料	
4.1 プライマー	12
4.2 防水用ポリエステル樹脂	12
4.3 防水用ガラスマット	13
4.4 通気緩衝シート	13
4.5 硬化剤	14
4.6 トナー	14
4.7 保護・仕上げ材	14
4.8 パテ材	14
4.9 面木	14
4.10 絶縁用テープ	14
4.11 ドレン・ストレーナー	14

5章 施 工

5.1 事前確認	15
5.2 施工前下地確認	15
5.3 ドレンの取付	16
5.4 FRP 防水施工方法	16

6章 施工管理

6.1 工事前の対策	20
6.2 材料の保管	20
6.3 施工時の天候と環境条件	21
6.4 現場（施工箇所）の養生	22
6.5 施工時の安全衛生	22
6.6 防水層の養生	23
6.7 廃材の処理	23
6.8 防水工事業者の指定	23

7章 注意事項

7.1 火災予防事項	24
------------	----

付属資料-1 FRP 防水材工業会会員各社の飛び火認定番号及び下地構造一覧表

付属資料-2 木造住宅バルコニーFRP 防水施工チェックシート

付属資料-3 バルコニーにおける FRP 防水層を維持管理する上での注意事項

付属資料-4 FRP 防水材工業会会員名簿